

日特建設株式会社

本店
〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-10-6
TEL.03(5645)5050(大代表) FAX.03(5645)5051

札幌支店

〒004-0041 札幌市厚別区大谷地東4-2-20 1F
TEL. 011(801)3611(代) FAX. 011(801)3633

旭川営業所 TEL.0166(34)1204
函館営業所 TEL.0138(35)7010
道東営業所 TEL.0155(24)5600

東北支店

〒982-0036 仙台市太白区富沢南1-18-8
TEL. 022(243)4439(代) FAX. 022(243)4438

青森営業所 TEL.017(773)7275
盛岡営業所 TEL.019(663)6100
三陸出張所 TEL.0193(27)8157
秋田営業所 TEL.018(863)3035
山形営業所 TEL.023(641)5988
福島営業所 TEL.024(536)1800

東京支店

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-10-6 2F
TEL. 03(5645)5100(代) FAX. 03(5645)5107

長野営業所 TEL.026(228)6761
群馬営業所 TEL.027(253)2305
宇都宮営業所 TEL.028(637)3567
水戸営業所 TEL.029(246)2700
埼玉営業所 TEL.048(647)6981
千葉営業所 TEL.043(225)8023
横浜営業所 TEL.045(450)5553

北陸支店

〒950-0864 新潟市東区紫竹5-26-1
TEL. 025(241)2234(代) FAX. 025(241)2229

佐渡営業所 TEL.0259(55)2332
上越営業所 TEL.0255(44)4750
富山営業所 TEL.076(452)2766
金沢営業所 TEL.076(240)0111
福井営業所 TEL.0776(38)6499

名古屋支店

〒460-0008 名古屋市中区栄1-16-6 8F
TEL. 052(202)3211(代) FAX. 052(202)3212

岐阜営業所 TEL.058(275)0206
静岡営業所 TEL.054(202)2090
三重営業所 TEL.059(225)6575

大阪支店

〒541-0048 大阪市中央区瓦町2-2-7 10F
TEL. 06(6232)2109(代) FAX. 06(6232)2108

京滋営業所 TEL.075(646)5890
神戸営業所 TEL.078(577)2570
奈良営業所 TEL.0747(22)5571
高松営業所 TEL.087(840)4151
松山営業所 TEL.089(946)0771
高知営業所 TEL.088(861)4171

広島支店

〒730-0803 広島市中区広瀬北町3-11 9F
TEL. 082(231)2109(代) FAX. 082(231)2310

鳥取営業所 TEL.0857(39)8050
松江営業所 TEL.0852(21)7317
岡山営業所 TEL.086(226)1429
山口営業所 TEL.0839(25)4258

九州支店

〒812-0027 福岡市博多区下川端町1-3
TEL. 092(271)6461(代) FAX. 092(271)6482

佐賀営業所 TEL.0952(37)6912
長崎営業所 TEL.0957(49)9320
熊本営業所 TEL.096(382)1639
大分営業所 TEL.097(552)4222
宮崎営業所 TEL.0985(23)1406
鹿児島営業所 TEL.099(227)0901
沖縄営業所 TEL.098(861)0739

直轄グラウト部

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-10-6 2F
TEL. 03(5645)5111(代) FAX. 03(5645)5112

海外事業部

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-10-6 5F
TEL. 03(5645)5055(代) FAX. 03(5645)5056

ジャカルタ駐在員事務所(インドネシア共和国)

Epicentrum Walk Lantai 5 Unit B515
Jl. HR Rasuna Said, Kuningan, Jakarta 12940, Indonesia
TEL. 62-21-5610-0988 FAX.62-21-2994-1991

お問い合わせ 本店技術本部、事業本部、または最寄りの支店、営業所へお問い合わせください。

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-10-6 5F

技術本部 TEL:03-5645-5115 FAX:03-5645-5113

事業本部 TEL:03-5645-5060 FAX:03-5645-5066



E-mail mag@nittoc.co.jp URL <http://www.nittoc.co.jp>

2016.04

L-スピンコラム工法の取扱注意事項

●L-スピンコラム工法の取扱に際しては、技術資料等をご確認ください。●ここに記載された事項は、標準的な試験法に準拠した弊社の実験データに基づくものですが、多岐にわたる条件下での実際の現場施工結果を確実に保証するものではありません。●商品改良のため、予告なく仕様の一部を変更する場合がありますので、ご了承ください。

NITTOC

高圧噴射併用機械攪拌工法

L-スピンコラム工法



L-スピンコラム工法

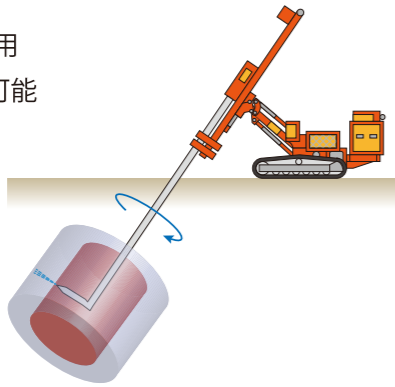
高圧噴射併用機械攪拌工法

L-スピンコラム工法は、ボーリングマシンを使用し、拡径型攪拌翼先端のノズルから硬化材を噴射する高圧噴射併用機械攪拌工法です。

既存の工法では困難であった斜め施工が可能となし、高圧噴射を併用することでラップ施工が可能になりました。拡径技術を利用して、スラブや硬質地盤を小さい径で貫通し、その下位にある軟弱地盤を改良できます。

特長

- 鉛直、斜め施工が可能
- 高圧噴射と機械攪拌を併用
- クレーン無しでの施工が可能
- ラップ施工が可能



噴射状況

仕様

標準適用範囲

適用地盤
砂質土 $N \leq 20$
粘性土 $N \leq 3$

標準改良径

土質	砂質土		粘性土	
	$N \leq 15$	$15 < N \leq 20$	$N \leq 2$	$2 < N \leq 3$
改良径(m)	2.0	1.8	2.0	1.8

設計強度

土質	砂質土	粘性土
一軸圧縮強度 (MN/m ²)	3.0	1.0



施工状況

標準施工仕様

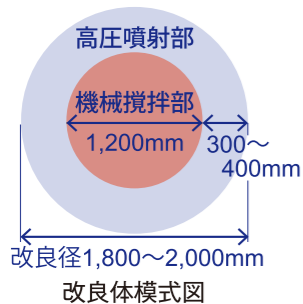
引上げ速度	30 min/m
硬化材噴射圧力	30 MPa
硬化材吐出量	60 L/min



攪拌翼(縮径時)



攪拌翼(拡径時)

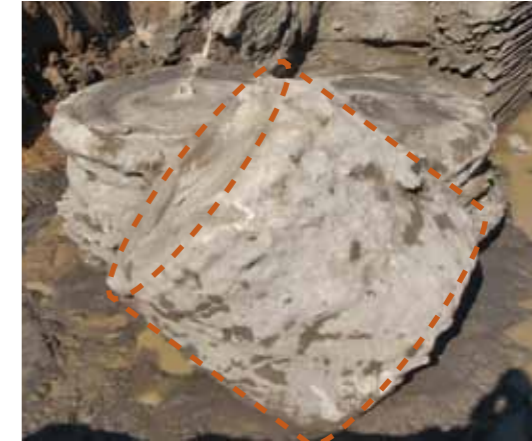


L-スピンコラム工法の改良形態と改良体

鉛直施工

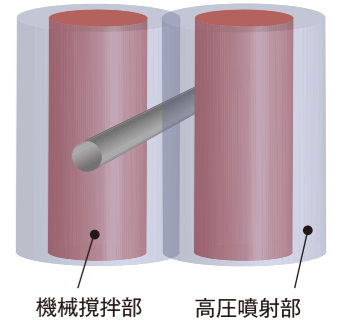


斜め施工

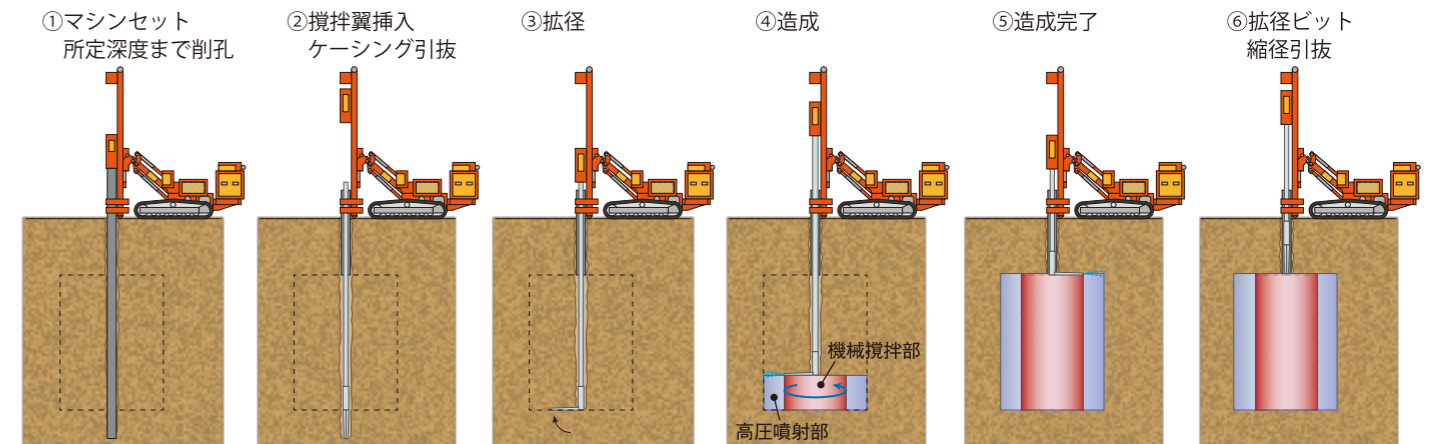


埋設物を巻込んだ施工

高圧噴射により、埋設物の周辺を改良できます。

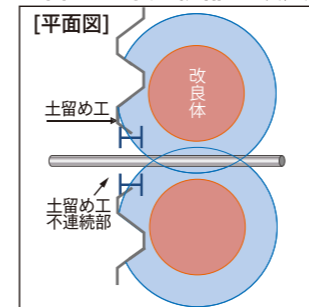


L-スピンコラム工法の施工手順

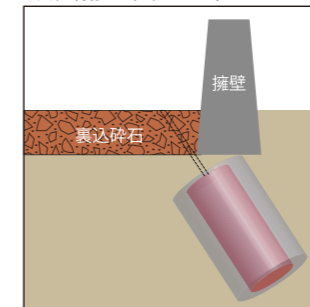


L-スピンコラム工法の適用例

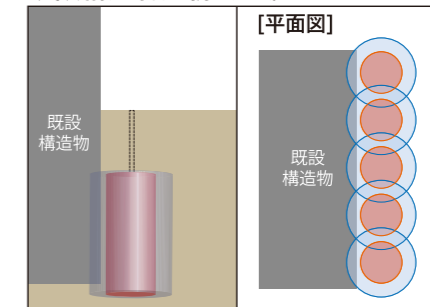
土留め工不連続部の改良



硬質部を貫いて施工



既設構造物近傍での施工



埋設物を回避して施工

